



こんにちは！  
菊地葉子です

道政報告  
2019年11月号

No.47

# 3定一般質問 街頭演説中のヤジ

## 強制排除で知事・公安委員長・道警本部長にたがす

9月10日から開催された第3回定例道議会で菊地葉子道議は一般質問にたち、消費税増税、原子力防災計画、カジノ問題、胆振東部地震後の再建策、幌延深地层研究計画、日米貿易協定の影響、新幹線の残土問題、選挙中のヤジ対応などについて知事・教育長・公安委員長・道警本部長に質問しました

菊地道議は、7月の参院選で、安倍首相の札幌での街頭演説の際、「安倍やめろ」とヤジを飛ばした市民を北海道警察が強制的に排除した問題を取りあげました。

菊地道議は北海道弁護士会連合会の「肉声のヤジは公職選挙法の自由妨害に当たらない。他の聴衆とのトランプルの恐れがあったと合理的に考えることも困難」とする声明について知事、公安委員長、道警本部長の受け止めをたがしました。

**知事「速やかに公表を」  
公安委員長「疑念抱かれ残念」**

鈴木知事は「事実確認を行い、結果を速やかに公表頂きたい」道公安委員会の小林ヒサヨ委員長は「警察の職務執行の中立性に疑念が抱かれたことは残念。引き続き道民の期待と信頼に応えるべく職務に当たるよう道警を指導していく」と答弁。

菊地道議の「二ヶ月以上立つのに強制的排除の法的根拠を示せないのはなぜか。いつまでに示すつもりなのか」との再三の質問にも山岸本部長は「できるだけ早い時期に必要な説明をする」と述べるにとどまりました。

菊地道議は「期待が多ければ誘致、不安だとする項目にはその解消を図るとして誘致。結局誘致の流れをつくるためのアンケートになっっている」「誘致に賛成か反対かこそ聞くべき。それを聞かないということは結果がどうであれ、誘致への道づくり」と指摘。

知事は「道が作成した啓発用冊子は国が進める日本型IRに関する正確な情報を道民に提供するもの。冊子を活用し、調査結果も、参考にしながら誘致について適切に判断していきま

す」と答弁を繰り返しました。



日本共産党は、ギャンブル依存症は本人・家族・社会に重大な害悪をもたらすとしてカジノ誘致に反対しています。

### 原発事故時の安定ヨウ素剤 道は対象者全員に配布！

原子力規制委員会は、原子力施設から半径約5kmに居住する住民への「安定ヨウ素剤」の事前配布に対し「年齢制限なしから、対象を「原則40歳未満」に改悪しました。

菊地道議は、知事に規制委員会に年齢制限の撤廃を求め、また道として

はどう対応するのかと質問しました。

知事は「道としてはこれまでと同様、PAZ内の住民全員にヨウ素剤を配布できる体制を維持するとともに、平時から安定ヨウ素剤の事前配布に必要な体制の整備に努める」と答えました。

### 生活相談をうけています

- 月曜日～金曜日
- 午前10時～午後4時

#### 菊地葉子事務所

小樽市稲穂1-12-205 ステーションハイツ  
☎64-5591 FAX64-5592



## 新幹線トンネル発生土 塩谷地域現地調査

菊地道議は市議団とともに赤井川から天神までの後志トンネル塩谷工区での発生土受入地の状況を視察しました。

旧小樽市産業廃棄物処理場の奥に、鉛・ヒ素含有の要対策土を含む18万立方メートルの発生土を搬入します。

原地盤に収着させて無害化をはかる盛土を5層に積み上げ、盛土への浸水は泥砂池に集められ上澄みを川に流す仕組みなど、鉄道運輸機構の説明を受けました。

自然災害の多い昨今、土砂災害や溢水が心配です。何より今後もトンネル工事で発生する土の受入先の多くは未定であり、課題の多い新幹線工事です。



鉄道運輸機構の説明を聞く菊地道議（左から3人目）ら



宮崎慎吾課長と懇談する菊地道議と川畑市議団長

## 市内の交通安全めざし小樽警察署に申入れ

10月11日、菊地道議は川畑正美小樽市議団長とともに北海道警察小樽警察署に、市内の交通安全対策要望について申し入れ、懇談を行いました。小樽市内の信号や横断歩道設置等、交通安全対策を求める10項目を提示し、住民の声を届けました。小樽警察署の交通

通第一課・宮崎慎吾課長は「予算確保が困難で、新設の山の手小学校前の信号機は忍路地域から移設して設置した」と事例をあげ、今後同様の検討が必要と対応。

菊地道議は全道の交通安全対策のために日本共産党は安全対策の予算増額を求めていることを伝えました。

## 自民・公明 改憲意見書強行

自民党道民会議は第三回定例道議会最終日に「改憲」論議を求める意見書を提出。日本共産党と民主・道民連合が反対、道結志会が棄権を表明して退席した中で公明党の賛成で強行採決しました。

自民党は「憲法は施行以来72年改定していない」と国会の憲法審査会で論議が必要と主張。日本共産党は「憲法審査会に議論を求めることは改憲を求めること」とと説明。「地方議員が憲法改正を求めることは立

憲主義からも許されない事であり、改憲を国に求めることはあり得ない」と厳しく批判しました。

これまで道議会では改憲意見書の提出が複数回見送られてきましたが、4月の地方選挙で自民党が単独過半数の53議席を得、今回公明党の賛成も得て数の力で強行したといえます。

議会には夜遅くにもかかわらず、道憲法共同センターの会員や市民が傍聴にかけつけ、採択の行方を見守りました。

## 菊地道議一般質問 道議会傍聴してきました!!

はじめて道議会を傍聴しました。菊地葉子道議の質問時間は15分間と短い中で、多くの質問をする為に小々早口でしたが、時間内で終え一安心しました。前日から時間調整等で苦労された結果だと思います。

知事や北海道警察の答弁中に傍聴席から大きな声で、「質問にしっかり答えろ」と何度か発言があり、議会職員から再三の注意を受け、その後強制退場を目の当たりに見て驚きました。また退場時「地獄に落ちて死ぬ」といって議場を出されたのですが、後から聞いた話で安倍総理が札幌で選挙応援していた時にヤジ発言で警察に強制排除された方だと知り、これまた驚きでした。当局側の答弁は、安倍首相などの国会答弁と同じく真摯に応えない姿勢に「うんざり」します。菊地道議の一時間ほどの質問で、当局側の不誠実さが証明された感じを強く受けました。相手を追い詰める状況を作った効果があったと思います。この次は、新しくなった議会庁舎で是非傍聴したいです。

T・K

### ～道議会新庁舎～

## 自民党が会派控室内に喫煙所設置を決定

自民党・道民会議は来年1月完成予定の道議会新庁舎の自民党会派控室内に喫煙所の設置を決めました。

「自民党会派の事だから」という意見もありますが、北海道医師会や日本禁煙学会からは厳しい批判の声があり「道議会の権威をおとしめる」「自民党が行ったアンケートで喫煙所設置に賛成した議員は名乗り出るべき」等の意見がでています。日本共産党は敷地内全面禁煙を訴えています。

### 街頭で道政報告する菊地道議



### 木育フェスタで植樹する菊地道議

